

ADATARA

NEWS
Letter

二本松青年海外協力隊訓練所

＼ JICA二本松は開所から25年を迎えました ＼



TOPICS

1. 届けます!福島のことを途上国へ ~ご寄附に感謝!~
2. 世界も福島も元気に ~出動!災害ボランティア~

JICA海外協力隊帰国隊員レポート

「私にとっての青年海外協力隊」昭和60年(1985年)度1次隊 幕田 順子さん (理数科教師) ザンビア共和国

「1995年5月19日 二本松訓練所開所式の様子(竹下元総理も参加してのテープカット)」
2019年12月にJICA二本松は開所25周年を迎えた 写真引用元:クロスロード1995年7月号

JICA海外協力隊 帰国隊員レポート

「私にとっての青年海外協力隊」



まくた じゅんこ
幕田 順子さん

昭和60年度1次隊
派遣国：ザンビア共和国
職種：理数科教師



2020年がスタートした。私が協力隊活動を終え帰国した1988年からすでに30年以上も経っている。今この原稿を書くにあたって改めてその長い年月に驚いている。

私にとって最初の強烈な異文化体験は、3か月の派遣前訓練だった。ふんどしをしている人、毎日お祈りをする人。それだけではない。はじめてアフリカ系の語学講師を目の前にし、その肌の色や手のひらが白いことに素直に驚いた。今まで会ったことのない人たちがたくさんいた。

ザンビアでの赴任先は、地方都市カテテの公立中高等学校。そこで私は教員用住宅で2人のザンビア人女性教員と生活を共にした。彼女たちは、変に日本人を自負している小娘を温かく見守ってくれ、そのお陰で私はザンビアの様々な生活をいち早く学ぶことができた。ザンビアでの活動は、理科を教えてきたというよりも、世の中には様々な考え方や文化がある。日本の常識はザンビアでは常識ではないことを学んだ3年間だった。例えば時間に関する価値観。バスは時間になったら発車するものではなく、満員になったら発車するものであり、それぞれの土地でそれぞれの合理的な理由が存在していた。それからは、違う事にイライラすることなく異文化と接することができるようになった。

日本に戻り、1年間JICA東北支部で国内協力員をした後、現在の(公財)福島県国際交流協会に就職した。ここでも3年海外経験したという変な自負がある私を、職場のスタッフや関係者の皆さんは暖かく見守って接してくれた。そのお陰で、結婚し家事育児をしながらでも、なんとか現在まで勤めることができています。県協会での仕事は、外国出身者との関わりも多い。その際、3年間の協力隊活動で学んだことが活かされている。何か違うことに会ったとしても、違うことは当たり前と一呼吸おいて、ではどうしたらいいかを考えるようにしている。違っていることはイコール間違っていることではない。さらに最近、自分は実は周囲の人から支援され、見守られ、寄り添われていると思えるようになってきた。人はお互いに支え合って生きている。「協力隊」は、「協力隊」であって「支援隊」でない所以を今ようやく理解できるようになった。

JICA二本松が開所して25年。仕事から現在もJICA二本松と関わり多いこともあり、私にとって協力隊は常に身近な存在である。「協力隊員だった」というだけで、初対面の人であってもすぐに打ち解けることができる。世代や居住地、職業、立場、年月などを超越した仲間がいるという協力隊経験者ならではの醍醐味を、私は今満喫している。



現地の子どもたちと



国際理解出張講座にて

外国人住民のための生活相談窓口

福島県国際交流協会では、外国人のための相談に多言語で対応しています。行政の窓口などでさまざまな手続きをする際、電話で通訳します。

◇英語・中国語・日本語

火曜日～土曜日 9:00～17:15

◇タガログ語・ポルトガル語・韓国語・ベトナム語

木曜日 10:00～14:00

(ただし、第4・5木曜は事前予約が必要)

【相談専用】TEL:024-524-1316

FAX:024-521-8308

MAIL:ask@worldvillage.org

① 届けます!福島の想いを途上国へ ~ご寄附に感謝!~

「令和元年度福島県優良建設工事表彰」
を受賞された14社の皆様からご寄附をいただきました。

11月28日(木)、福島県国際交流協会でご寄附受納式が行われ、発起人の大槻電設工業株式会社 代表取締役 大槻博太様より、JICA 二本松 富安所長に目録が贈呈されました。また「世界の人びとのためのJICA基金」への寄附に感謝を表してJICA二本松 富安所長より企業14社に感謝状をお贈りしました。

同様に、株式会社三崎組 代表取締役 太田和夫様より、福島県国際交流協会 今野順夫理事長へ目録が贈呈され、今野理事長より感謝状をお贈りしました。

JICA二本松 富安所長からは「いただいたご寄附は開発途上国の現場で活躍されているNGO・NPOの皆様と共に活用し、平和で豊かな国際社会づくり、SDGs、持続可能な開発目標の達成に取り組んでいきます」と感謝の言葉を伝えました。

JICA基金事業

JICAは、「世界の人びとのためのJICA基金」等を通じ国際協力にご関心のある市民の皆様、法人・団体の皆様からの寄附金を受付けております。“途上国の人びとに直接届く支援”を皆様からお預かりした寄附金を財源に実施し、皆様の想いを途上国の人びとに届けたいと考えています。貧困削減を通じた平和で豊かな世界の実現に向け、ともに貢献していければ幸いです。

② 世界も福島も元気に ~出動!災害ボランティア~

2019年10月、福島県では阿武隈川等の氾濫による大規模な水害に見舞われました。JICA二本松で訓練中だった2019年度2次隊の有志は訓練が休みの日曜日等を利用し、延べ100名が二本松市の隣の本宮市の被害が大きなエリアで災害ボランティアとして活動しました。

また長野県にある駒ヶ根訓練所と二本松訓練所の訓練生の有志でTシャツを販売し、その売上金の一部を福島民報社、福島民友新聞社を通じて寄附しました。

JICA海外協力隊の活動は、開発途上国だけでなく、福島も日本も「元気」にします!



贈呈式後の記念撮影
(左から小檜山氏、今野氏、太田氏、大槻氏、富安氏)

<寄附賛同企業様>

東信建設工業株式会社	株式会社三崎組
石川建設工業株式会社	福浜大一建設株式会社
ミドリ環境建設株式会社	堀江工業株式会社
株式会社山一緑化土木	大槻電設工業株式会社
株式会社加地和組	北関東空調工業株式会社
石橋建設工業株式会社	秋山ユアビス建設株式会社
矢祭建設株式会社	株式会社光和設備工業所
	以上14社



ボランティア集合写真



JICA海外協力隊

※①派遣国 ②職種 ③出身地

2019年度2次隊



青年海外協力隊
まふね しげや
真船 繁也さん
①ソロモン
②作業療法士
③西郷村



青年海外協力隊
めぐろ ゆかこ
目黒 友佳子さん
①ボリビア
②小学校教育
③会津若松市



青年海外協力隊
むなかた まなみ
宗像 真奈美さん
①ルワンダ
②コミュニティ開発
③郡山市



青年海外協力隊
うわは はるか
上羽 晴香さん
①バヌアツ
②看護師
③会津若松市



青年海外協力隊
すげの ますみ
菅野 万寿美さん
①セネガル
②公衆衛生
③二本松市



青年海外協力隊
おかざき りな
岡崎 里南さん
①ベナン
②看護師
③会津若松市



青年海外協力隊
くにい ゆり
國井 友里さん
①モザンビーク
②PCインストラクター
③二本松市



青年海外協力隊
あらかわ よしえ
荒川 芳恵さん
①モンゴル
②青少年活動
③会津若松市



青年海外協力隊
すずき れいな
鈴木 伶奈さん
①ウガンダ
②体育
③会津若松市



悩みはここで解決!

なんでも相談窓口



JICA二本松訓練所のホームページでは、JICA海外協力隊についてなんでも相談できます! JICA海外協力隊に関すること、イベント、JICA二本松施設訪問、講師派遣依頼など、些細なことから難しいことまで担当スタッフが丁寧に対応致します!

ぜひご相談ください!

JICA二本松 なんでも相談窓口



現在も福島県出身者28名が 世界18カ国で活躍中



2019年11月30日現在 合計派遣中:28名 累計:791名

青年海外協力隊			シニア海外協力隊		
派遣中	26	累計 720	派遣中	1	累計 54

日系社会青年海外協力隊			日系社会シニア海外協力隊		
派遣中	1	累計 11	派遣中	0	累計 6

発行元

独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局
二本松青年海外協力隊訓練所
〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2
Tel:0243-24-3200 Fax:0243-24-3214

お気軽にご連絡ください!

地域のJICA窓口! JICAデスクのご紹介

■JICA福島デスク 星 明彦

TEL : 024-524-1315
E-mail: jicadpd-desk-fukushimaken@jica.go.jp
福島県福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館2階
(公財)福島県国際交流協会内

■JICA郡山デスク 室井 研一

TEL : 080-3148-2105
E-mail: MUROI-Kenichi2@jica.go.jp
福島県郡山市朝日一丁目23-7 郡山市役所西庁舎4階
郡山市役所産業政策課内